学校番号	３０２０

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育(ダンス：女子)	単位数	１単位/３単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ダンスの動きの中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運きや表現を高めよう。
・自他の運きや表現を観察し、分析することで興味・関心を高め、ダンスの楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・ダンスの授業を通して、「する・見る・支える・調べる」といった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
ダンスの学習に自主的に取り組み、互いに助け合い教え合うことや一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にすることなどに意欲をもち、健康・ 安全を確保することができるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすることができるようにする。	表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	ダンスの学習に自主的に取り組み、互いに助け合い教え合うことや一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にすることなどに意欲をもち、健康・安全を確保することができるようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 現代的なリズムのダンス	a: リズムに乗って体幹部を中心に全身で自由に弾んで踊ることができるようにする。また、短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる、ダイナミックなアクセントを加えるなどの変化や個と群の動きを強調してまとまりを付けることができる。 b: 選択した踊りの特徴に合わせてよい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較し成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 c: 自己や仲間の課題に応じた練習方法を選択する学習や繰り返し粘り強く取り組むことなどに自主的に取り組むことができる。	観察 実技試験	学習ｶｰﾄﾞ 観察	学習ｶｰﾄﾞ 観察
2学期期	ダンス	創作ダンス (チームダンス)	a: 個人や集団の動きの中に一斉の同じ動き（ユニゾン）やばらばらの異なる動き、集団の動きを少しずつずらした動き（カノン）、密集や分散の動きなどを音に合わせて取り入れ表現することができる。 b: 作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で合意形成するための関わり方を見付け仲間に伝えることができる。 c: 作品創作などについての話合いに貢献しようとする。	観察 実技試験	学習ｶｰﾄﾞ 観察	学習ｶｰﾄﾞ 観察
3学期	ダンス	創作ダンス (クラスダンス)	a: 表したいテーマにふさわしいイメージを一層深めて、変化や起伏のある「はじめ―なか―おわり」の構成で表現をして踊ることができる。 b: ダンスの学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの 運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる。 c: 仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとする。	観察 実技試験	学習ｶｰﾄﾞ 観察	学習ｶｰﾄﾞ 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c: 主体的に学習に取り組む態度